



# より幅広い活動を...

## 南国市連合婦人会総会



住みよい社会を目ざして、交通安全指導、老人ホーム奉仕などの幅広い活動を続けている南国市連合婦人会（西森律会長、会員市内十三地区、三千二百三十五名）の総会が、役員約五十名の出席で、四月二十四日、市役所で開かれ、五十五年度の活動は、市政会議、交通安全街頭協力、土佐清風園奉仕などの他、教養向上のための日本画、俳句、折り紙の各教

室、県議会の傍聴などでした。今年の二月には、これらの活動により、婦人会活動優秀団体として表彰されています。五十六年度の重点目標を……

- ①差別をなくそう
- ②省エネ、省資源を推進しよう
- ③交通事故をなくそう

と定め、交通安全街頭協力、障害者への理解を広める活動、文化祭への参加、市・県議会傍聴などの

計画案を採択しました。午後からは、この目標にそって、同和問題について、高知市同和教育課長山崎静男さんの「一人一人を大切にす教育」と題する講演を聞きました。葛ヶ池中学校で教鞭をとられていた山崎先生は、野中地区での識字学級の話や交えて、同和地区の現状を説明され、同和教育の原点は、相手の立場になって、相手の本当の姿を見て知る

ことである。そして、同和問題を家庭内でタブー視せずに、積極的に話し合うことが大切」と述べられ、婦人からも大きな運動より、まず家の中からこの問題を考えていく必要があるのではないかと、その意見も出ました。二時間近いこの熱っぽい講演は、今後の婦人会の人権尊重の啓発運動にとって、大いに役立つものとなったようです。

### 話題を掘る(2)

## 百十二年前の「丸薬と印籠」

前号に続き岡豊町小連・和田知久さんの所蔵する印籠（いんろう）と、その中にある丸薬の話……

▽同家の先々代で郷士の治太郎さんが、戊辰（ぼしん）戦争に従軍し、転戦したさい身につけたもので、硬質の木をくりぬいて作っており、まるで薄い銅板細工のよう。

形は写真のように長方形といえ、縦八・五センチ、横六・〇センチほどで五つに分け、精巧な差し込みにして外気を完全に遮断、こう

して一個を形成している。表面はうるし塗り、黒地に金箔がかかり、優雅な枝垂（しだれ）松の模様で飾る。

丸薬はこの中にあり、使い残りらしく、救命丸、養胃丸など若干の巧緻（こうち）なすき方のしぶ（渋）紙に包まれ、救命丸の場合直径二、三センチ、薄い金色をしてかなり艶を持つが、においはない。効能書が添い、それによると、

越中（富山県）で製造した「救命丸」。毒消し・食中毒・たちくらみなどに効くとあり、一日に三回白湯（さゆ）で飲む。一回量は大人十粒、小人五粒。

効能書きの日付は明治二年であるから、実に百十二年前のもの。珍しいの一語に尽き、全国的に見ても稀（まれ）れであろう。効力は専門機関で調べる段取り。

※戊辰戦争「トルストイの一戦争と平和」が出た前年の、明治元年

年から始まった旧幕府軍と土佐藩などの官軍との戦争。鳥羽伏見や上野の彰義隊との激戦が有名。印籠の主・治太郎さんは明治三年九月、除隊した。

南国市文化財審議委員 三谷勇喜

